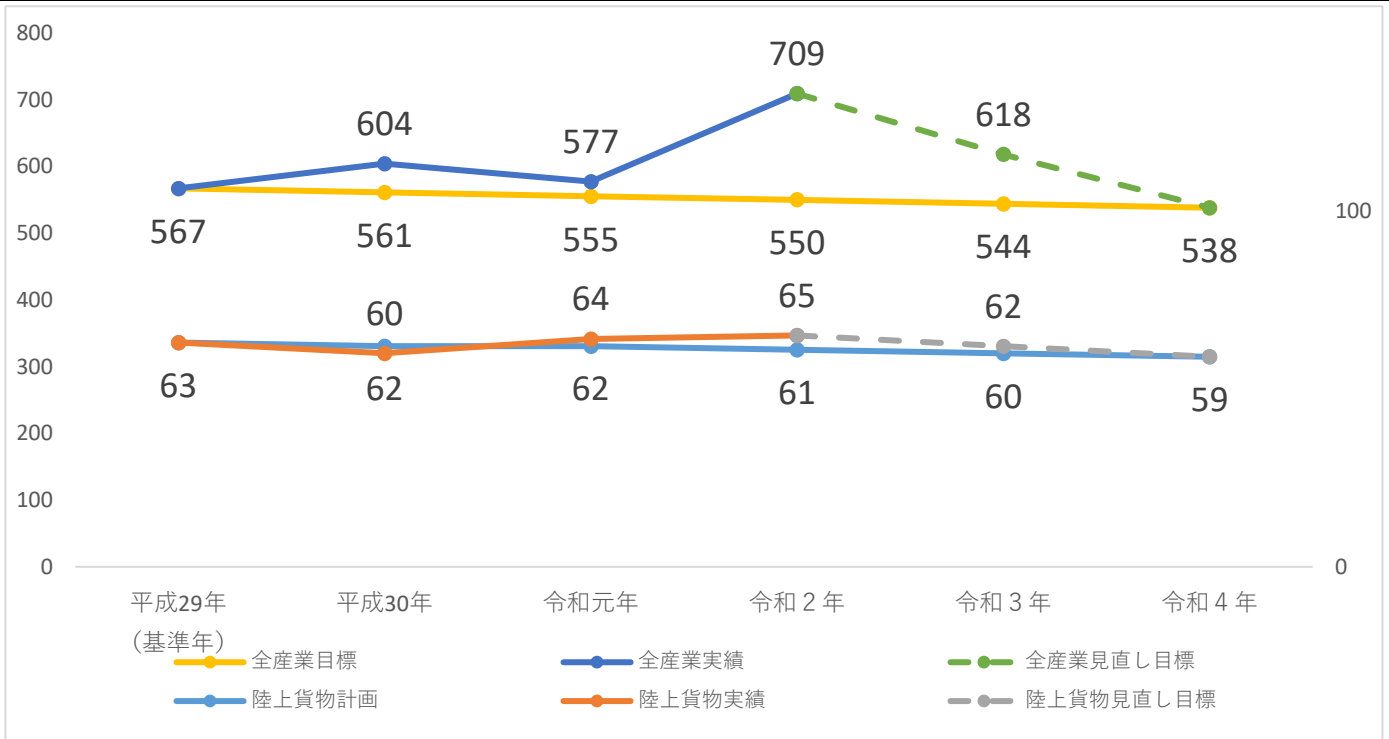


第13次労働災害防止推進計画の進捗状況 (陸上貨物運送業・令和3年4月)



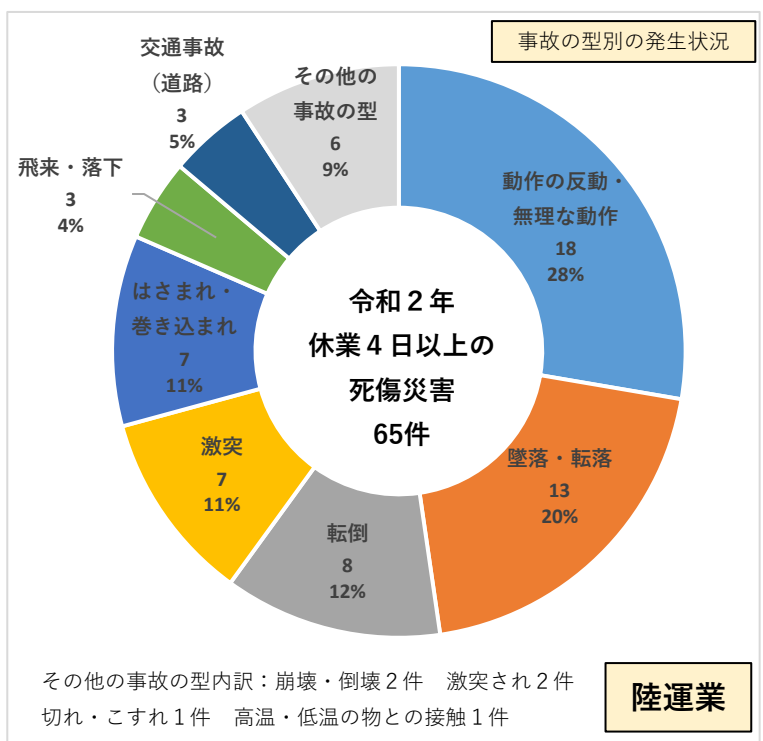
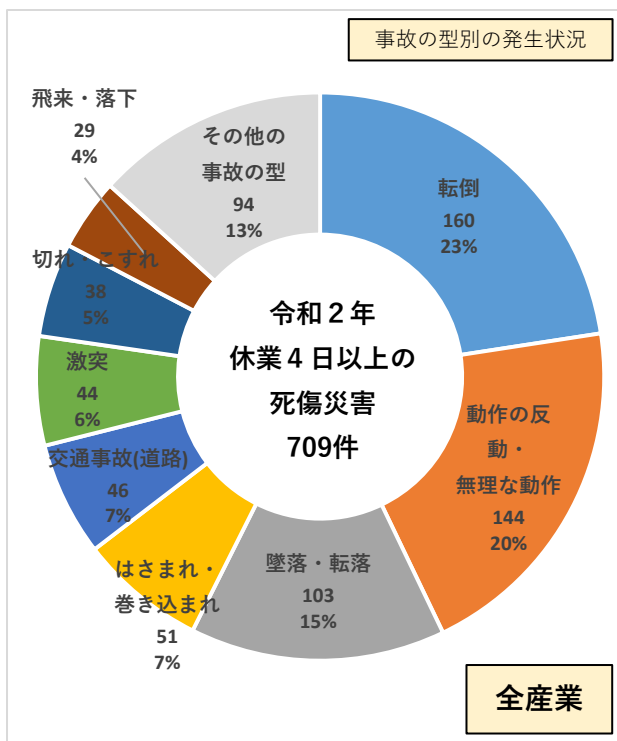
当署管内の建設業における第13次労働災害防止推進計画（以下「13次防」）については、休業4日以上
の死傷災害を平成29年の63件から令和4年に59件となるよう、5%減少とするため、事業場において
各種の取組をお願いしています。

13次防の初年度となる平成30年の労働災害は60件、前年比3件（4.8%）の減少となり、目標値の62件
を下回りました。2年目となる令和元年の労働災害は64件、前年比4件（6.7%）の増加となり、目標値
の62件を上回りました。

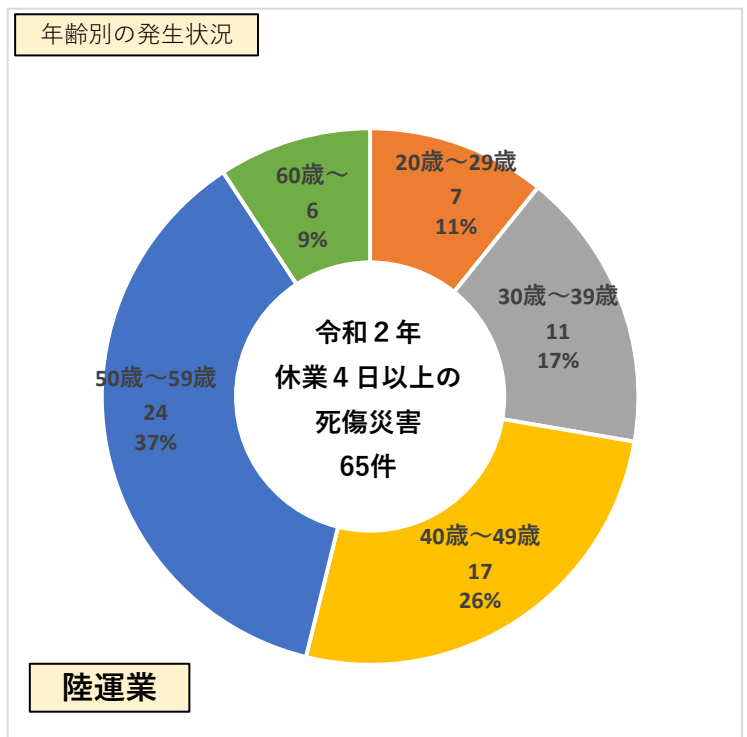
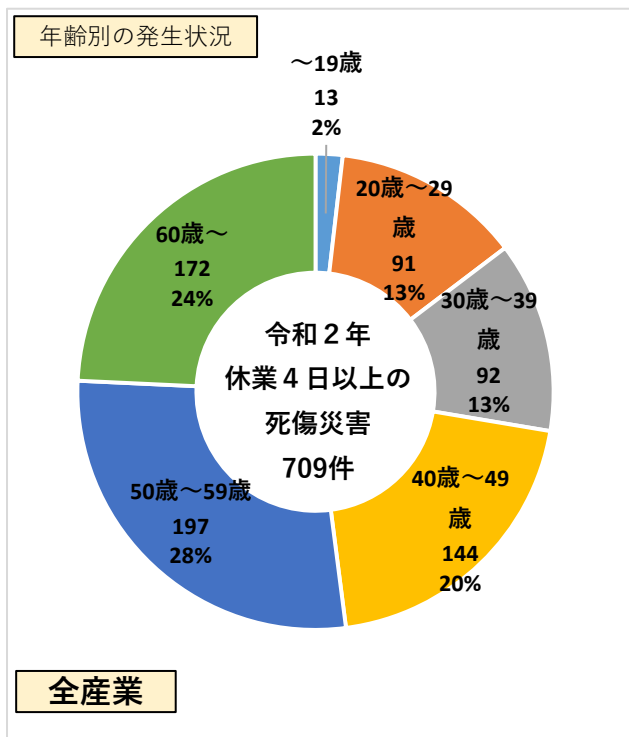
3年目となる令和2年の労働災害は65件、前年比1件（1.6%）の増加となり、目標値の61件を達成す
ることができませんでした。

13次防期間中は、2年連続して当該年の目標値を下回ることができませんでしたので、毎年1%の減少
率を改め、令和3、4年は5%減少させることにより目標達成を目指します。

業種別	第12次防 期間中の 死傷災害	平成29年 死傷者数 (基準年)	第13次労働災害防止推進計画								
			13次防 減少目標	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	令和4年
				目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	暫定値	見直し 目標値 減少率	見直し 減少率
全産業 (対前年増減割合)	2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	709	618	538
				-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	22.9%	-12.9%	-12.9%
陸上貨物運送事業	255	63	5%減少	62	60	62	64	61	65	62	59
				-1.0%	-4.8%	-1.0%	6.7%	-1.0%	1.6%	-5.0%	-5.0%



令和2年の休業4日以上労働発生状況は、腰痛災害が主となる動作の反動・無理な動作による災害が18件28%と最も多く、次いで、トラックの荷台や段差などからの墜落災害が13件20%、転倒災害が8件12%の順となっています。荷の持ち方や、荷台への昇降など基本的な事項を定めて作業手順の遵守を励行し、災害防止に努めてください。



令和2年における年齢別の休業4日以上労働災害発生状況では、高年齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつありますが、陸上貨物運送業では、全産業に発生状況と比べて、50歳代の発生割合が高い一方で、60歳代以上の方の被災割合が低くなっています。

13次防では、高年齢労働者の労働災害を減少させることも取組の一つであるため、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を参考に高年齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めてください。